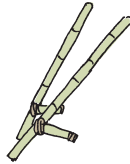


『旧坂東家住宅 見沼くらしっく館』



(上)旧坂東家住宅  
の中で、落語会を  
行ったときの様子  
(下)竹馬や竹ぼっ  
くりで遊ぶ、小学生  
の体験学習の様子

思わず寝転んじやいたい畳、  
背くらべの跡が残る柱……



「旧坂東家住宅 見沼くらしっく館」は、加木屋新田を開発した坂東家の旧宅を、ほぼ同位置に復原した野外博物館。坂東家10代目当主・助次郎によって1857(安政4)年に建てられた旧宅は、かやぶきの木造平屋建て、式台を持つ格式高い建物です。現在では「生きている民家」をテーマに、ひな祭りや端午の節句など、昔ながらの行事やそれにちなんだ展示、講座などを開催しています。

同館の管理者は「ここに住む誰かを訪ねるような気持ちで、自由な時間を過ごしてほしい」と語ります。また、市外から何度も足を運ぶ来館者からは「昨今、かやぶき屋根を目にする機会も少ない。今後も通い続けたい」との声も。地域の原風景とともに、これからは「地域のシンボル」として、市民に親しまれる存在であり続けるでしょう。

「昔ながらの日本家屋」として、地元住民はもちろん外国人観光客など、さまざまな来館者が集まる同館。地域に代々伝わる「暮らし」を今に残し、これからも愛着を持たれるようにとの願いを込めて、平成22年に「さいたま市景観重要建造物」に指定されました。



表紙の写真 / 「大宮消防署訓練場」



表紙の写真は、合併記念見沼公園越しにさいたま新都心を望むことができる大宮消防署訓練場で、年に一度市内10区に配置される各消防署の隊員が集まり行われる「平成27年度消防部隊活動訓練」の様子です。当日は、3階以上の建物火災を想定した放水訓練やはしご車による救助訓練が行われました。(写真は西消防署隊)

ホームページもチェックしてみてね!

『korekara』WEBサイトでは、誌面の紹介のほか、編集のこぼれ話やまちづくりに関する話題などを更新中。ぜひご覧ください!

「korekara」では、皆さんの声を広報誌の誌面に反映させるため「読者モニター」を随時募集しています。ぜひご登録ください。

あて先 ▶ 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号  
都市局都市計画部都市総務課 まで  
TEL:048-829-1394 FAX:048-829-1979  
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



もっと身近に、  
もっとしあわせに

さいたま市 korekara

検索